

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
基礎看護学実習Ⅱ		必修	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
坂本 文子 他	418	fumiko.sakamoto	月曜日～金曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	<p>実際に入院されている対象者1名の受け持ち学生となり、ヘンダーソンの基本的看護理論を用い、看護の方法論である看護過程を実践する能力を修得する。</p> <p>これまで学んできた知識や看護技術を活かし、様々な機能障害をもつ対象者の健康上のニーズを把握し、科学的でかつ個別的な看護計画を立案し、臨床指導者・専任教員の指導の下で看護ケアを実践し、評価・修正する一連の看護過程を学ぶ。また、対象者との関わりやケアの実践を通し、自らの看護に対する考えを深め、健康回復および健康生活維持のために必要な看護の役割について学ぶ。</p>				
学習上の助言	受け持った対象者に対し、基本的看護理論（V.ヘンダーソン）を用いた看護過程を展開し、看護実践の基本的な知識・技術および態度を習得して欲しい。				
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎看護学実習Ⅱ実習要項（オリエンテーション時配布する） ・看護の基本となるもの /著：V.ヘンダーソン /日本看護協会出版会 				
参考書	看護学生してはいけないケースファイル臨地実習禁忌集/下司映一他編著/丸善出版 人体構造機能学Ⅰ～Ⅲ、病理学、疾病治療論Ⅰ～Ⅶ、看護援助方法論Ⅰ～Ⅴ、ヘルスアセスメントⅠⅡ、で使用した教科書・資料				
① 受け持った対象者の看護過程を通し、看護実践の思考過程を理解できる。			関連卒業認定・学位授与方針		
② 看護実践の全過程において倫理的態度をとることができる。			HSU(2),NS(3)		
③ 保健医療福祉チームとの連携を考慮することができる。			HSU(1),NS(1)		
④ 保健医療チームの一員となる態度をとることができる。			HSU(3),NS(5)		
⑤ 保健医療チームの一員となる態度をとることができる。			HSU(1)(4)(5),NS(1)(5)		
授 業 計 画					
1. 実習の時期 2年次 1～2月					
2. 実習の具体的内容 各自対象者を受け持ち、その対象者に応じた看護過程を展開する。					
3. 実習の展開					
1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	
臨地実習 オリエンテーション 看護過程：情報収集	臨地実習 看護過程：情報収集 アセスメント	臨地実習 看護過程：情報収集 アセスメント	臨地実習 看護過程： 問題の明確化	学内実習 看護過程： 計画立案	
6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	
臨地実習 看護過程： 看護計画具体案	臨地実習 看護過程：実施	臨地実習 看護過程：実施	臨地実習 看護過程：評価	学内実習 実習まとめ	
4. 学生配置 学生は1グループ4～6人とする。					
5. 最終提出について 各個人で自己評価、まとめのレポート、実習記録を提出する。					
学習課題・学習時間（時間）					
受け持ち患者の情報収集を行い病態生理を十分に理解して実習に挑む。思考の確認は実習記録に反映させること。					
必要時間： 40時間					

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

総合評価割合（％）		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	20	0	60	20	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	20	0	20
	思考・推論・創造する力	0	10	0	10	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	5	5	10
	発表・表現伝達する力	0	5	0	5	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	10	5	15
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
		0	5	0	10	0	15
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
レポート	①	✓	実習のまとめのレポートとして、実習終了後にレポートを提出する。テーマ及び字数等の様式については、実習オリエンテーション時に配布する実習要項を用い説明を行う。				テーマに基づいた内容であるかを確認し、課題についてはコメントする。
	②						
	③	✓					
	④						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
ポートフォリオ	①	✓	テーマに基づいた内容であるかを確認し、課題についてはコメントする。				実習期間中に指導
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
その他	①		実習における態度については実習評価表に基づき総合的に判断する。 実習記録の提出期限に遅れた場合は受理しない。				
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
備 考							
他 担 当 教 員	窪川理英 授業補助：河西美生						
教 員 の 実 務 経 験	担当教員は、臨床経験5年以上を有している。 各担当教員が看護師としての臨床経験をもとに、学生が倫理的な判断をするための基礎的能力を養えるよう実習指導を行う。						
実 践 的 授 業 の 内 容	実務経験のある教員の指導のもと、看護展開について理解を深める。 受け持ち患者を通し、患者の思いを思考しながら学習する。						
そ の 他	・今後の新型コロナウイルス感染症の状況等社会情勢によってシラバスの変更があり得る。						